



## 奥裾花深谷

長野市鬼無里奥裾花、ここは地形的にも、植物的にも、そして伝説においても特徴のある地域です。

### ☆地形

五五〇万年前後の新生代第三紀の地層が大陸からの圧力により押し曲げられ、お椀の底状に歪曲した「向斜構造」、隆起した頂上部が地層の堅さによりノコギリの歯状に浸蝕された「ケスタ地形」など地質学的に興味深いものがあります。

裾花川支流濁川の国有林では、平成九年山地崩壊が発生して川をせき止め、自然ダム湖が形成されました。下流域に被害が及ぶことが懸念されたことから、国による対策工事が行われ、安全と景観が保たれています。

### ☆植物

国有林に隣接するブナ林の中に、県と旧鬼無里村が明治百年記念事業として開園した奥裾花自然園があります。五月上

木道脇に広がる清楚なミズバショウ



旬の今池湿原には、一目八十二万株といわれるミズバショウが咲き観光客の目を楽ませてくれます。

### ☆伝説

平安時代、京の都を追われた紅葉(もみぢ)という美しい腰元が、都恋しさに近くの集落(むら)を東京、西京などと呼び偲ぶうち、その情念が鬼と化し、ついには悪事を働き、やがては京を狙っているとの噂から、追っ手に征伐されたと言われています。

以来、水無瀬(みなせ)の里と呼ばれていたこの地が、鬼無里と言われるようになったと伝えられています。

### ◆アクセス方法

マイカー

上信越自動車道長野インターから国道四〇六号線を経由して奥裾花自然園観光センターまで約二時間三〇分

JR及び公共交通機関

長野駅から直行バスで、奥裾花自然園観光センターまで約二時間



柔らかい地層が浸食されたケスタ地形



平維茂に征伐された鬼女紅葉(開山祭より)